

日刊 磐城時報

編集者 石城 印刷所 石城 印刷所 印刷所 印刷所

第三區選舉會

當選者を確定すべき第三區選舉の内容左の如し。
會は二十三日午後一時平町第一
小學校講堂に於て選舉會長たる
本縣庶務課長尾戸次作氏並に安
田外二名の事務員及び各候補
者の立會人として比佐派若松美
三氏、家派渡邊巳八郎氏、木村
派鈴木振三郎氏、(佐藤派は欠)
の三氏出席先づ第三區内に於け
る平、植田、下小川、相馬、中
村、原ノ町六開票所の開票結果
に依つて帳簿を作製した上、尾
戸選舉會長からそれぞれ、朗讀報
告あり比佐、氏家、木村三氏當
選と確定午後二時開會した、確

十七萬圓減額

平町明年年度豫算

平町五年年度豫算案付議の平町會なるものは、収入に於て町稅約
は來る二十六日午前十時から同一萬三千圓、國庫下渡金一千六
役場會議室に於て開會するが、百圓、縣補助金八百圓、雜收入
ので内容を知らない四百圓、經常部支出では小學校
が、然し前年度豫算經常部十二傳染病豫防費二千圓、職業紹介
萬三千三百三十圓、臨時部二十所費七百萬圓、警備費五百圓、交
二萬一千九百八十二圓、計四十四萬圓、水道部繰入七千五百
五萬三千三百十二圓から見ると、臨時部十五萬圓、臨時部土
常部二萬一千圓、臨時部十五萬圓、臨時部十五萬圓、臨時部土
六千圓、計十七萬六千七百圓の激減三千二百圓、小學校建築費八
減となる模様である、減額の主費五萬一千六百圓等であるが、十

入營者慰問

平町役場では平町出身の現役兵
で朝鮮並に滿洲に入營してゐる
者を慰問する事になり二十四日
伏見町長の名で左の如き慰問書
を發送した

平町で

拜啓 朔風凄々として骨に徹
し難候處波濤萬里の異域に
在り日々軍務に御執筆御難
儀之事と存奉遙察候
折角御自愛邦家之爲め一層の
御奮闘切に希望仕候、先は時
候御見舞旁御慰問申上度如斯
に御座候、敬具

平人事相談所

基金募集寫眞
平町平館、有聲座の兩活動常設
は合同主催で二十五日、二
十六日兩日平警察署人事相談所
基金募集の活動寫眞會を催はす
想をして居たところ、開票の結
果は聊か豫想に反して一千五百
十余票に止まつたので、この際
議士を訪へば

現内閣の倒壊に 全力を傾注する

當選した木村氏談

惡戰苦闘遂に最後の勝利を獲得
した第三區木村清治氏は戰ひ抜
いた疲勞も見せず歡喜の面持の
中にも全國同志不振に沈痛の色
を浮べながら左の如く語る
苦戰苦闘の連鎖三句その間結
束して戦つて呉れた同志諸君
の奮闘は感激に堪へませぬ
幸ひ私が再度當選した上に選
舉民諸君に申上たやうに暗黒
な現在の日本を明るく吾々の
の日本を建直す爲めに現内閣
の倒壊に全力を傾けませう、
戦ひに勝つた併し私として今
云々

石城民政黨の内紛は 今後果してどうなるか

部會本家争ひ問題

石城郡を中心として行はれた野崎氏は沈黙するであらうと見
三區政戦もこゝに全く終了したる向きもあるが、比佐萬能の歴
當選者のうち民政は比佐氏二萬圓の氣流の中にあると雖も野崎
五百九十二、氏家氏一萬九千五百の票を得た
三十六と云ふ共に驚へべき巨額
を得て居るので、地盤の協定も
ならずして政戦中に同志ながら
反目した兩者間の空氣は掃き
清められたが、こゝに石城民政黨野崎
派は依然として未解決で、今後
の問題として新によみがへるこ
ととなつた、この問題について比佐昌平氏は二萬五千九百九十二票
は野崎氏は氏家氏のために石城を獲り、第二區當選第一位をし
から二千票位を差せばならぬと占め、當選祝賀會は二十三日午
として一般もまたその程度の豫後一時から平町南町十兩市場
想をして居たところ、開票の結
果は聊か豫想に反して一千五百
十余票に止まつたので、この際
議士を訪へば

當選祝賀會

比佐昌平氏の

當選は確定した同志氏家君
第二位で當選した第三區は民二
政一となつた、斯くなるのも
時代の推移です、私が第一位
を占めたのは同志の同情と働
いて呉れた皆様の努力の結果
です、大いに國家のため國民
のため働きます今回の選舉は
職務に服務したので評判となつ
言論に文書に順調に進展した
てゐる。

當選御禮
今回衆議院議員選舉に際し
各位の御熱誠なる御援助に
より當選の榮を得候段奉深
謝候不取敢紙上を以て御禮
申上候
二月二十四日
木村清治

當選御禮

木炭同業組合で 検査料値下げ
濱三郡木炭同業組合總會は二十算千二百九十五圓を計上した、
三日午前十時から平町組合事務所は明年年度から検査料を低下
所に開き、昭和五年年度豫算に於て小俵一錢二厘を
き協議した、同組合では五年年度一錢に大俵二錢五厘を二錢に荷
中に石城郡湯本町に百五十坪の票料は三厘を二厘五毛に夫々値
木炭倉庫を建築する事となり豫
下げする事になつた。

佐藤候補の 残念會

話の種 第三區における無効
投票中振つたものをあげる
比佐比佐と佐藤なめづり、赤
銅が家廻る、景氣來るごと
「家賃三割値下げ」
「動物園ではあるまいし、牛や
馬は入れられない。
その他等あつた。

落選した候補者佐藤庄太郎氏の
残念會は二十三日午後六時から
平町谷口樓に開いたが、集る者
四十四名であつた。

### 石城第三方面部 青年團總會

石城郡第三方面部平町外十四箇村青年團聯合總會は二十三日午前十時から平町聚樂館に於て開會事業計畫、青年團員の意見發表その他の後、議事に入り終つて東京市大日本青年團主事後藤隆之助氏の農村疲弊の原因とその對策と題する講演並に餘興として活動寫眞を開催散會した。

### 洋服値下げ

金解禁の結果羅紗の値段が下つたので平町洋服商組合で二月から紺サージ紺黒ヘルその他洋服を一割安で調製する事になつた

### 田吾作選舉感

畑尾田吾作生 俺らは始めて衆議院の投票をやつただから深いことは知らねえが

黨名の婦人から同情金を貰ふとか、小學生から手紙に添へて同情金を贈るとか云ふのは馴合ひか親の入智恵ややつた仕事だんべえと疑はれるだ

「まあ丈夫になつたわ」是れも平町七丁目の熱心湯のお蔭様よにほんたうにいゝ香りだわ……そして湯の安い事、朝の十時から夜迄入つて湯治の方は二階座敷料共で僅か二十五

が云へねえだ、よく世間で候補になつたときは泣き面下げて一票を願つてイザ代議士となれば自分獨りになつた氣で威張つて歩く云ふが代議士は偉えだから威張るのは構はねえが立候補當時の心を以て國民に見える人が少いの心に



美味、強壯の効、若大、血を、肉を、肥やす、本舗 榎尾長命堂、平町新川町、電話一六四

## 外科一般

醫學博士 藤本 順

## 産婦人科

長 木村寅次郎

病室完備 入院隨意 平町新川町(電話一六四) 木村病院

## 熱心湯

「まあ丈夫になつたわ」是れも平町七丁目の熱心湯のお蔭様よにほんたうにいゝ香りだわ……そして湯の安い事、朝の十時から夜迄入つて湯治の方は二階座敷料共で僅か二十五



「あらさう? それではあたかもこれから毎日行くわ、そして丈夫な身体になるわ……」

### コンピアレコード特別發賣

正しき選舉の道 尾崎行雄 演説  
春の鳥 映畫小唄 河原喜久恵  
麗人の唄 同 松竹管絃樂團  
殿中及傷 浪花節 浪花亭綾太郎  
何れも熱狂的の歡迎を受けて居ります、是非御買上げを願います……著音器の破損は早く良く安く  
電話一九番 大谷時計病院

### 石炭の特色

弊店の石炭は常に安く良くと言ふ事を信條として居ります。  
●石炭は只單に一俵いくらと申しても目方が正確でなければ真に安いとは申されません。  
●目方の正確品質の優良 當店は目方の正確を期する爲に正味十貫目 一俵を六十錢と定めました  
●弊店の石炭は磐城炭礦、最上等の品で品質は常に一定して居ります。大量生産ですから安く賣る事が出来る強味を持つて居ります。  
●弊店の石炭が他の何處の品よりも高いと御思召す場合は御手数數にても御知らせ下さい、御氣に召す様に致します  
平 驛 前 ●阿部石炭商店  
電話三三七番 配達は一俵より致し升

### 新妻眼科醫院

平町字 紺屋町  
●入院應需 ●看護婦一名至急募集

### 貸家

平町字 鍛冶町二五番地表家  
水道付二階建五間  
御希望者は左記に御相談下さい  
平町字 鍛冶町  
酒井政之助

### 液体空氣會社製 酸素含有量百分中(九.五)

吸入用酸素素吸入器  
正確体温器 寒暖計  
特約 開内藥局  
電話四〇番

### 耳鼻咽喉科 專

氣管食道科 門  
病室完備…自炊の便あり  
平町南町 大和田醫院  
電話一七〇番

### 高久病院

醫學士 高久 忠  
新瀉醫學士 赤羽 清  
藥劑士 佐竹 菊雄  
内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科  
三日のむだらピツタリこまる  
新瀉 淋 トリプチン  
定價(三日分壹圓 七日分二圓 十一日分參圓 廿日分五圓 四十五日分 拾圓)  
平町一丁目(電話六四二番)  
特約一手販賣店 大平屋藥舖  
平町 紺屋町  
吉田眼科醫院  
電話 六八番